

復命書

所長	次長	次長（技術）	技監（工事）	総務課長
企画検査課長	班長	課員		
工事課長	班長	課員		
維持管理課長	課長代理	班長	課員	担当
表題	令和3年度 舞阪漁港管理会			
日時	令和3年7月8(木) 14時00分～14時45分			
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜名漁業協同組合 渥美代表理事組合長、松田総務課長、佐藤女性部代表、天野理事、後藤理事（オブザーバー出席） ・ 浜松市産業部農業水産課 河野課長、空谷G長、吉山主任 ・ 浜松土木事務所 廣瀬所長 維持管理課：岩瀬課長代理、吉田主査、工事課：安田工事第2班長 			
場所	浜名漁業協同組合 3階会議室			
内容	<p>1 開会</p> <p>2 委員紹介 名簿により委員を紹介。今年度参加を依頼したオブザーバーを紹介。</p> <p>3 報告事項（前年度の事業実績（維持管理）について） 資料により説明。承認を得た。</p> <p>4 審議事項（今年度の事業実績（維持管理）について） 資料により説明。以下の質疑等があった。</p> <p>浜松市 看板の色を青から変更した理由について説明してほしい。</p> <p>浜松土木 景観と全体の調和を考慮して、県の方針で青から茶に変更した。</p> <p>河野委員 市は修繕負担金としてR2年度で200万円支出した。使途等を確認したい。</p> <p>浜松土木 漁港整備事業での負担金は発生するが、浚渫、県単漁港維持修繕、漁港関係事業推進費（県単）は、負担金なし。</p> <p>河野委員 負担金の具体的な使途については、後日担当職員から確認させていただく。</p> <p>渥美委員・防舷材の取替箇所、候補を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水路の浚渫は良いこと。その一方で、浚渫等により浜名湖内で水中の抵抗が減り、流速が早くなった。角立て網を張れないほどで、牡蠣・海苔などの生物にとっても住みにくい環境になった。 ・ 弁天大橋、中浜名橋、西浜名橋の下付近に、テトラポット等を流速緩和の障害物として設置してほしいという声が、漁師からある。漁船以外の船舶の安全も考慮する必要もあり、環境が変わり過ぎるかもしれないので、県に要望辛い。 ・ 以前アサリは、3番鉄橋下でよく取れたが、流速が早くてアサリが流され居着か 			

なくなった。環境はすぐによくなることはない。県に相談したい。

浜松土木 漁師が使いやすいように対応している。今年度の Y 字堤への中込め材の追加（充填）も、その流速を緩和することにつながる。浜名湖の自然環境を含めてできることをしたい。広い視野で考えたい。

オブザーバー（天野氏）

舞阪浜表第 1 防波堤の北端が沈下している。対応を確認したい。

浜松土木 現地を点検調査し、25cm 沈下を確認。調査結果から緊急性は低いとされた。国費で対応する予定。予算要望中。数年のうちには対応可能と考える。

以上の質疑等の後、計画について承認を得た。

5 その他

浜松土木事務所所長より、以下の発言あり。

- ・ 西浜名橋の橋梁修繕で迷惑をかけている。
- ・ 海岸の防潮堤について。旧舞阪町（現浜松市）側はあるが、旧新居町（現湖西市）側では命山を建設中。協力を依頼する。

6 閉会